



高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 地理歴史科 科目 日本史B

教科：地理歴史科 科目：日本史B

単位数：5 単位 5

対象学年組：第3学年 組～組

教科担当者：（組：高萩慶太）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（「詳説日本史 改訂版」（山川出版社）新詳日本史（浜島書店）、授業用 詳説日本史改訂版整理ノート、新よくでる一問一答日本史（山川出版社）

教科 地理歴史科 の目標：

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調  
**【知識及び技能】** 査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して  
**【思考力、判断力、表現力等】** 多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に  
**【学びに向かう力、人間性等】** 解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる日本の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史改訂版整理ノート』（山川出版社）P4～73 ・教材 「詳説日本史 改訂版」（山川出版社）新詳日本史（浜島書店）、授業用 詳説日本史改訂版整理ノート、新よくでる一問一答日本史（山川出版社） ・一人1 台端末の活用等	【知識・技能】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 旧石器時代から鎌倉時代に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	66
	定期考査			○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 室町時代～第二次世界大戦に関わる諸事象を理解するとともに、	・指導事項 『詳説日本史改訂版整理ノート』（山川出版社）P76～171 ・教材	【知識・技能】 室町時代～第二次世界大戦に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。				

2 学 期	<p>諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 室町時代～第二次世界大戦に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 室町時代～第二次世界大戦に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。</p>	<p>『詳説日本史 改訂版』（山川出版社）新詳日本史（浜島書店）、授業用 詳説日本史改訂版整理ノート、新よくでる一問一答日本史（山川出版社）</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【思考・判断・表現】 室町時代～第二次世界大戦に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 室町時代～第二次世界大戦に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。</p>	○	○	○	71
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】 戦後の世界に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦後の世界に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 戦後の世界に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。</p>	<p>・指導事項 『詳説日本史改訂版整理ノート』（山川出版社）P172～229</p> <p>・教材 『詳説日本史 改訂版』（山川出版社）新詳日本史（浜島書店）、授業用 詳説日本史改訂版整理ノート、新よくでる一問一答日本史（山川出版社）</p> <p>・一人1台端末の活用等</p>	<p>【知識・技能】 戦後の世界に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる。</p> <p>【思考・判断・表現】 戦後の世界に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 戦後の世界に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。</p>	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年A組

教科担当者：（永井）

使用教科書：（『高等学校 新政治・経済 新訂版』（清水書院））

教科 公民

の目標： 人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野を立て、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自らの人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

【知識及び技能】 現代の多様化する社会の様相を的確に把握した上でその問題点を正確に認識し、問題解決と価値創造、世界の調和の実現に尽力できる社会性の育成と人間性の陶冶を目標とする。

【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな社会的な問題に対して、幸福・正義・公正の観点から、自ら種々の・主体的に取り組む姿勢、批判力、多面的に考える力、自分の考えや意見を発表できる力などを育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 現代社会における在り方生き方問題、青年期の課題などに対しても興味関心を高める。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための主体的となる機会や議論について理解し、種々の資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を有する。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治、経済に関する概念や理論を適用し、現実社会にみられる複雑な課題を把握する力や説明する力、身に付けた判断基準を根拠に構想する力、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指図して議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養成する。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な観察や深い理解を通して涵養される、国民主体を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 【知識及び技能】 法の役割と民主主義、日本国憲法などについて理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 民主主義の特質についての資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用し、現代社会の特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 民主主義の特質について関心を高め、意欲的に追究し、社会や政治の在り方と福祉の向上について客観的に考察することができる。	・指導事項 『高等学校 新政治・経済 新訂版』（清水書院） ・教材 『高等学校 新政治・経済 新訂版』（清水書院） 『最新図説現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 法の役割と民主主義、日本国憲法などについて理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 民主主義の特質に関する様々なメディアを通して収集し、情報を適切に活用し、現代社会の特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 民主主義の特質について関心を高め、意欲的に追究し、政治活動の在り方と福祉の向上について客観的に考察しようとしている。				10
1 単元 【知識及び技能】 各産業の直面する問題、公害・環境問題、消費者問題、雇用をめぐる問題、社会保障問題など日本経済の諸課題について理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本経済の諸課題についての資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用し、現代日本経済の諸課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本経済の諸課題について関心を高め、意欲的に追究し、効率的性と公正さなどの観点から経済の在り方と福祉の向上について客観的に考察することができる。	・指導事項 『高等学校 新政治・経済 新訂版』（清水書院）P110～128 ・教材 『高等学校 新政治・経済 新訂版』（清水書院） 『最新図説現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 各産業の直面する問題、公害・環境問題、消費者問題、雇用をめぐる問題、社会保障問題など日本経済の諸課題について理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本経済の諸課題についての資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に活用し、現代日本経済の諸課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本経済の諸課題について関心を高め、意欲的に追究し、効率的性と公正さなどの観点から経済の在り方と福祉の向上について客観的に考察しようとしている。				12
定期考査			○	○		2
C 単元 【知識及び技能】 人口減少社会と社会保障、地域社会の変貌と住生活、雇用と労働をめぐる問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、実質的な平等の実現など、持続可能な社会の形成を求めらるべき現代日本の政治や経済の諸課題に関する基本的な事項について理解し、その知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の諸課題に関する資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用し、現代日本の諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察できている。	・指導事項 『高等学校 新政治・経済 新訂版』（清水書院）P156～174 ・教材 『高等学校 新政治・経済 新訂版』（清水書院） 『最新図説現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 人口減少社会と社会保障、地域社会の変貌と住生活、雇用と労働をめぐる問題、産業構造の変化と中小企業、農業と食料問題、実質的な平等の実現など、持続可能な社会の形成を求めらるべき現代日本の政治や経済の諸課題に関する基本的な事項について理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の諸課題に関する資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に選択して効果的に活用し、現代日本の諸課題について、持続可能な社会の形成という視点から望ましい解決の在り方について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に探究し、望ましい解決の在り方について客観的に考察しようとしている。				22
定期考査			○	○		1
D 単元 【知識及び技能】 政治と国家、契約自由の原則、社会契約説、法の支配、権力分立制、議院内閣制、大統領制などについて理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 国民主体を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質に関する資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に活用し、現代民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民主体を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について関心を高め、意欲的に追究し、民主的な政治の在り方について客観的に考察することができる。	・指導事項 『高等学校 新政治・経済 新訂版』（清水書院）P6～76 ・教材 『高等学校 新政治・経済 新訂版』（清水書院） 『最新図説現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 政治と国家、契約自由の原則、社会契約説、法の支配、権力分立制、議院内閣制、大統領制などについて理解し、その知識を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 国民主体を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質に関する資料を様々なメディアを通して収集し、情報を適切に活用し、現代民主政治の本質や現代政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民主体を原理とする民主政治の本質や現代政治の様々な特質について関心を高め、意欲的に追究し、民主的な政治の在り方について客観的に考察しようとしている。				12
合計						59

高等学校 令和5年度(3学年用) 教科 地理歴史科 科目 世界史B

教科：地理歴史科 科目：世界史B 単位数：5 単位  
 対象学年組：第3学年 組～組  
 教科担当者：(組：佐藤) (組： ) (組： ) (組： ) (組： ) (組： )  
 使用教科書：(『詳説 世界史B』(山川出版) 『最新世界史図説タペストリー』(帝国書院) )  
 教科 地理歴史科 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	A 単元 古代から中世の世界 【知識及び技能】 古代から中世の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 古代から中世の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 古代から中世の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・指導事項 『詳説世界史B』 p16～169 ・教材 『明解 世界史A』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 古代から中世の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 古代から中世の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代から中世の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	66
	定期考査			○	○		1
2 学 期	B 単元 近代から近世の世界 【知識及び技能】 近代から近世の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 近代から近世の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 近代から近世の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・指導事項 『詳説世界史B』 p178～301 ・教材 『明解 世界史A』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 近代から近世の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 近代から近世の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代から近世の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	71
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>C 単元 帝国主義から現在の世界</p> <p>【知識及び技能】 帝国主義から現在の世界の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義から現在の世界の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義から現在の世界の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 『詳説世界史B』 p 308～414</p> <p>・教材 『明解 世界史A』 『最新世界史図説タペストリー』</p> <p>・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 帝国主義から現在の世界の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。</p> <p>【思考・判断・表現】 帝国主義から現在の世界の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義から現在の世界の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。</p>	○	○	○	22
				○	○		1
						合計	162

高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 公民 科目 現代社会

教科：公民 科目：現代社会 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 EK組

教科担当者：（EK組：高萩慶太）

使用教科書：（「現代社会」（東京書籍））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】現代の多様化する社会の様相を的確に把握した上でその問題点を正確に認識し、問題解決と価値創造、世界の調和の実現に尽力できる社会性の育成と人間性の陶冶を目標とする。

【思考力、判断力、表現力等】さまざまな社会的な問題に対して、幸福・正義・公正の観点から、自ら積極的・主体的に取り組む姿勢、批判できる目、多面的に考える力、自分の考えや意見を発表できる力などを育てる。

【学びに向かう力、人間性等】現代社会における在り方生き方問題、青年期の課題などに対しても興味関心を高める。

科目 現代社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の基本的問題と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄を見だし、社会的現象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間の関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的現象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 地球環境問題・資源エネルギー問題・科学技術・情報化 【知識及び技能】 ・現代社会における諸課題をとらえ、考察するための枠組みとしての幸福、正義、公正などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各問題について、それらの背景や影響などを多面的・多角的に考察している。 ・各問題について、クローズアップで示された視点を手掛かりに、幸福、正義、公正などの観点から多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各問題の背景、対策等に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。	・指導事項 「現代社会」（東京書籍）P5～26 ・教材 『最新図説 現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・地球環境問題の内容や性格、背景などについて理解し、その知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・課題について調べたことや考察したことを、適切な方法を用いて表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・地球環境問題について、望ましい社会のあり方や自己の生き方と関連させて意欲的に考察しようとしている。	○	○	○	6
B 単元 現代社会の青年と生き方 【知識及び技能】 ・人生における青年期の意義とともに、現代における青年期の特徴を、心理的・社会的モロトリアム等の用語を手掛かりに理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・青年期の特徴やアイデンティティの意味について自らの生き方の視点も含めて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の青年期の特色やアイデンティティの確立の意義について、自分自身の課題として考え、追究する。	・指導事項 「現代社会」（東京書籍）P32～57 ・教材 『最新図説 現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・人生における青年期の意義とともに、現代における青年期の特徴を、心理的・社会的モロトリアム等の用語を手掛かりに理解している。 【思考・判断・表現】 ・青年期の特徴やアイデンティティの意味について自らの生き方の視点も含めて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の青年期の特色やアイデンティティの確立の意義について、自分自身の課題として考え、追究しようとしている。	○	○	○	8
C 単元 民主主義と日本国憲法 【知識及び技能】 ・民主政治の成立の歴史や原理、基本的人権の歴史的展開について理解し、民主政治に関する基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民主政治の成立における、社会契約説の意義や権力分立の考え方、法の支配などの意義について、歴史的経過も視野に入れながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主政治の成立に際して、どのような思想や考え方があったのか、関心を持って意欲的に考える。	・指導事項 「現代社会」（東京書籍）P58～109 ・教材 『最新図説 現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・民主政治の成立の歴史や原理、基本的人権の歴史的展開について理解し、民主政治に関する基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・民主政治の成立における、社会契約説の意義や権力分立の考え方、法の支配などの意義について、歴史的経過も視野に入れながら考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民主政治の成立に際して、どのような思想や考え方があったのか、関心を持って意欲的に考えようとしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1



高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 公民 科目 現代社会

教科：公民 科目：現代社会 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A・B組

教科担当者：（A組：永井 B組：高萩）

使用教科書：（『現代社会』（東京書籍））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】現代の多様化する社会の様相を的確に把握した上でその問題点を正確に認識し、問題解決と価値創造、世界の調和の実現に尽力できる社会性の育成と人間性の陶冶を目標とする。

【思考力、判断力、表現力等】さまざまな社会的な問題に対して、幸福・正義・公正の観点から、自ら積極的・主体的に取り組む姿勢、批判できる目、多面的に考える力、自分の考えや意見を発表できる力などを育てる。

【学びに向かう力、人間性等】現代社会における在り方生き方問題、青年期の課題などに対しても興味関心を高める。

科目 現代社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の基本的問題と人間の在り方生き方とに関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 現代社会の青年と生き方 【知識及び技能】 ・人生における青年期の意義とともに、現代における青年期の特徴を、心理的・社会的モラトリアム等の用語を手掛かりに理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・青年期の特徴やアイデンティティの意味について自らの生き方の視点も含めて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の青年期の特色やアイデンティティの確立の意義について、自分自身の課題として考え、追究する。	・指導事項 「現代社会」（東京書籍）第1部 ・教材 『最新図説 現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・人生における青年期の意義とともに、現代における青年期の特徴を、心理的・社会的モラトリアム等の用語を手掛かりに理解している。 【思考・判断・表現】 ・青年期の特徴やアイデンティティの意味について自らの生き方の視点も含めて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の青年期の特色やアイデンティティの確立の意義について、自分自身の課題として考え、追究しようとしている。	○	○	○	6
	B 単元 現代の社会と人間 【知識及び技能】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について、先哲の思想などを参考に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について、自分自身の課題として考え、追究する。	・指導事項 「現代社会」（東京書籍）第2部1章 ・教材 『最新図説 現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について用語や概念、データを手掛かりに理解している。 【思考・判断・表現】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について、先哲の思想などを参考に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・科学と人間、グローバル化する社会と文化などに関する倫理的課題について、自分自身の課題として考え、追究しようとしている。	○	○	○	10
	C 単元 民主主義と日本国憲法 【知識及び技能】 ・民主政治の成立の歴史や原理、基本的人権の歴史的展開について理解し、民主政治に関する基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民主政治の成立における、社会契約説の意義や権力分立の考え方、法の支配などの意義について、歴史的経過も視野に入れながら考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主政治の成立に際して、どのような思想や考え方があったのか、関心を持って意欲的に考える。	・指導事項 「現代社会」（東京書籍）第2部2章、3章 ・教材 『最新図説 現社』（浜島書店） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・民主政治の成立の歴史や原理、基本的人権の歴史的展開について理解し、民主政治に関する基礎的な知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・民主政治の成立における、社会契約説の意義や権力分立の考え方、法の支配などの意義について、歴史的経過も視野に入れながら考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民主政治の成立に際して、どのような思想や考え方があったのか、関心を持って意欲的に考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		2
	D 単元 現代の経済と国民福祉 【知識及び技能】	・指導事項 「現代社会」（東京書籍）第2部4章	【知識・技能】 ・現在経済に至る経済社会の変容、現代の企業の区分、株式会社の特色について理解し、				

2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在経済に至る経済社会の変容、現代の企業の区分、株式会社の特色について理解し、その知識を習得する。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・ 市場における、価格の働きを通じた財やサービスの配分のメカニズムについて考察している。寡占市場、独占市場、外部不経済などの市場の限界について、具体的な事例も想起しながら考察する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・ 財政と社会保障など、身近に関わる経済的諸問題について関心をもち、探究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材『最新図説 現社』（浜島書店）</li> <li>・ 一人1台端末の活用等</li> </ul>	<p>その知識を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市場における、価格の働きを通じた財やサービスの配分のメカニズムについて考察している。寡占市場、独占市場、外部不経済などの市場の限界について、具体的な事例も想起しながら考察している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政と社会保障など、身近に関わる経済的諸問題について関心をもち、探究している。</li> </ul>	○	○	○	18
	<p>E 単元</p> <p>国際社会と人類の課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人と社会の関わりの視点から、国際社会の諸課題について、環境や資源・エネルギーの問題などを取り上げ、持続可能な社会形成への参画の在り方について考察する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の中で日本の果たす役割について考察するために、教科書記載の図や資料を適切に活用する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの現代社会や政治、経済、国際関係等に関する学習を振り返りながら、日本の果たすべき方向性について、関心が高まる。</li> </ul> <p>定期査査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導事項「現代社会」（東京書籍）第2部5章</li> <li>・ 教材『最新図説 現社』（浜島書店）</li> <li>・ 一人1台端末の活用等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人と社会の関わりの視点から、国際社会の諸課題について、環境や資源・エネルギーの問題などをもとに、持続可能な社会形成への参画の在り方について理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の中で日本の果たす役割について考察するために、教科書記載の図や資料を適切に活用しながら考察している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの現代社会や政治、経済、国際関係等に関する学習を振り返りながら、日本の果たすべき方向性について、関心をもち、探究している。</li> </ul>	○	○	○	18
				○	○		2
3 学期	<p>E 単元</p> <p>共に生きる社会をめざして</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人と社会の関わりの視点から、人口問題・南北問題・SDGsなどのテーマを取り上げ、持続可能な社会形成への参画の在り方について考察する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の中で日本の果たす役割について考察するために、教科書記載の図や資料を適切に活用する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの現代社会や政治、経済、国際関係等に関する学習を振り返りながら、日本の果たすべき方向性について、関心が高まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導事項「現代社会」（東京書籍）第3部</li> <li>・ 教材『最新図説 現社』（浜島書店）</li> <li>・ 一人1台端末の活用等</li> </ul>	<p>E 単元</p> <p>国際社会と人類の課題、共に生きる社会</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人と社会の関わりの視点から、人口問題・南北問題・SDGsのテーマを取り上げ、持続可能な社会形成への参画の在り方について考察できている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の中で日本の果たす役割について考察するために、教科書記載の図や資料を適切に活用している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの現代社会や政治、経済、国際関係等に関する学習を振り返りながら、日本の果たすべき方向性について、関心が高まっている。</li> </ul>	○	○	○	8
							合計
						74	

八丈 高等学校 令和5年度（3学年用） 教科 公民 科目 教養の社会

教科：公民 科目：教養の社会 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 Ⅲ群 IV群

教科担当者：（Ⅲ群：野田）（IV群：野田）

使用教科書：「完成ワーク 社会」（増進堂）

教科 公民 の目標： 人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自らの人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

- 【知識及び技能】 現代の多様化する社会の様相を的確に把握した上でその問題点を正確に認識し、問題解決と価値創造、世界の調和の実現に尽力できる社会性の育成と人間性の陶冶を目標とする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな社会的な問題に対して、幸福・正義・公正の観点から、自ら積極的・主体的に取り組む姿勢、批判できる目、多面的に考える力、自分の考えや意見を発表できる力などを育てる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会における在り方生き方問題、青年期の課題などに対しても興味関心を高める。

科目 教養の社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・現代の社会とその成り立ち、人々の生活についての基本的な事柄を理解し、自身の進路と関連付ける形で知識を身に着けている。	・現代の社会の様々な問題について多面的・多角的に考察し、よりよい社会を作っていく方法を見出すとともに、その過程と結果を様々なメディアを適切に活用し、表現している。	・現代の社会における様々な事象に対し、自らの進路・生活と結び付けて積極的に考察しようとする態度を身に着け、現代社会における望ましい在り方・生き方について自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学 期	○地理・歴史の一般教養について 【知識及び技能】 ・地理歴史の内容について常識問題を通じて、教養を深める。  【学びに向かう力、人間性等】 ・地理歴史の内容について関心を高める。	・指導事項 問題演習を通じて確認 ・教材 整理と演習 完成ワーク 社会 (増進堂) ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・地理歴史の内容について常識問題を通じて、教養を深められているか。  【学びに向かう力、人間性等】 ・地理歴史の内容について関心を高められているか。	○		○	10
	○興味関心に基づく発表・レポート作成 【知識及び技能】 ・生徒の興味・関心に基づき、調査や他者の発表を通じて、教養を深める。  【思考力、判断力、表現力等】 ・調査をまとめて発表したり、他者の発表に対して適切なコメントや質問ができたりする。また、適切にその内容をレポートにまとめることができるようにする。  【学びに向かう力、人間性等】 ・生徒の興味・関心に基づき、調査や他者の発表を通じて、教養を高める。	・指導事項 発表の仕方、レポート作成の仕方 ・教材  ・一人1台端末の活用等 発表、コメント記入、レポート作成	【知識及び技能】 ・生徒の興味・関心に基づき、調査や他者の発表を通じて、教養を深められたか。  【思考力、判断力、表現力等】 ・調査をまとめて発表したり、他者の発表に対して適切なコメントや質問ができるか。また、適切にその内容をレポートにまとめることができるか。  【学びに向かう力、人間性等】 ・生徒の興味・関心に基づき、調査や他者の発表を通じて、教養を高められたか。	○	○	○	10
	定期考査			○			2
	○地理・歴史の一般教養について 【知識及び技能】 ・公民の内容について常識問題を通じて、教養を深める。  【学びに向かう力、人間性等】 ・公民の内容について関心を高める。	・指導事項 問題演習を通じて確認 ・教材 整理と演習 完成ワーク 社会 (増進堂) ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 ・公民の内容について常識問題を通じて、教養を深められているか。  【学びに向かう力、人間性等】 ・公民の内容について関心を高められているか。	○		○	13



高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

地理歴史科 科目 日本史探求

教科：地理歴史科

科目：日本史探求

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～ B組

教科担当者：（AB組：高萩慶太）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：『詳説日本史』（山川出版社）

教科 地理歴史科

の目標：

【知識及び技能】

現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探求

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる日本の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 【知識及び技能】 江戸時代の幕末に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸時代の幕末に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 江戸時代の幕末に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P220～240 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 江戸時代の幕末に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 江戸時代の幕末に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 江戸時代の幕末に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	11
A 単元 【知識及び技能】 明治時代初期に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 明治時代初期に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 明治時代初期に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P240～260 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 明治時代初期に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 明治時代初期に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治時代初期に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	16
1学期 定期考査			○	○		1
A 単元 【知識及び技能】 明治時代に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 明治時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 明治時代に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P260～280 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 明治時代に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 明治時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治時代に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	12
A 単元 【知識及び技能】 大正時代に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 大正時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P280～290 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 大正時代に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 大正時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 大正時代に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。				

	大正時代に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 大正時代に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。		大正時代に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 昭和時代初期に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 昭和時代初期に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 昭和時代初期に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P290～300 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 昭和時代初期に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 昭和時代初期に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 昭和時代初期に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	13
	A 単元 【知識及び技能】 昭和時代中期に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 昭和時代中期に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 昭和時代中期に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P300～310 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 昭和時代中期に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 昭和時代中期に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 昭和時代中期に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	A 単元 【知識及び技能】 第一次世界大戦に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P310～320 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 第一次世界大戦に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	16
	A 単元 【知識及び技能】 第二次世界大戦に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P320～330 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 第二次世界大戦に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1
	A 単元 【知識及び技能】 戦後の世界に関わる諸事象を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 戦後の世界に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	・指導事項 『詳説日本史』（山川出版社）P330～350 ・教材 『詳説日本史図録』（山川出版社） ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 戦後の世界に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 戦後の世界に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 戦後の世界に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。				

3 学 期	戦後の世界に関わる事象の特色などを多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 戦後の世界に関わる諸事象について、主体的に追究しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての理解を深める。	戦後の世界に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	10
	定期考査		○	○		1
						合計 119







高等学校 令和5年度（2学年用）教科 地理歴史科 科目 世界史探究

教科：地理歴史科

科目：世界史A

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～B組

教科担当者：（A組：佐藤）（B組：佐藤）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（『詳説 世界史』（山川出版社）『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院））

教科 地理歴史科

の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 アジアの前近代の諸文明 【知識及び技能】 アジア前近代の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア前近代の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア前近代の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 アジア前近代の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 アジア前近代の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア前近代の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	11
B 単元 ヨーロッパなどの前近代の諸文明 【知識及び技能】 ヨーロッパなどの前近代の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパなどの前近代の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパなどの前近代の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ヨーロッパなどの前近代の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパなどの前近代の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパなどの前近代の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。	○	○	○	10
1 学 定期考査			○	○		1

期	<p>C 単元 繁栄するアジア</p> <p>【知識及び技能】 繁栄するアジアの歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 繁栄するアジアの歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 繁栄するアジアの歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 繁栄するアジアの歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。</p> <p>【思考・判断・表現】 繁栄するアジアの歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 繁栄するアジアの歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。</p>	○	○	○	13
	<p>D 単元 大航海時代と新たな国家</p> <p>【知識及び技能】 大航海時代と新たな国家の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 大航海時代と新たな国家の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 大航海時代と新たな国家の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さ</p>	<p>・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 大航海時代と新たな国家の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。</p> <p>【思考・判断・表現】 大航海時代と新たな国家の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 大航海時代と新たな国家の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学	<p>E 単元 欧米の工業化とアジア諸国の動揺</p> <p>【知識及び技能】 欧米の工業化とアジア諸国の動揺の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 欧米の工業化とアジア諸国の動揺の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 欧米の工業化とアジア諸国の動揺の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深</p>	<p>・指導事項 『詳説 世界史』 p98～146 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 欧米の工業化とアジア諸国の動揺の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめられる。</p> <p>【思考・判断・表現】 欧米の工業化とアジア諸国の動揺の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 欧米の工業化とアジア諸国の動揺の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。</p>	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>F 単元 現代社会の芽生えと世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 現代社会の芽生えと世界大戦の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代社会の芽生えと世界大戦の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の芽生えと世界大戦の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深め</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 現代社会の芽生えと世界大戦の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代社会の芽生えと世界大戦の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会の芽生えと世界大戦の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。</p>	○	○	○	20
	<p>G 単元 冷戦から地球社会へ</p> <p>【知識及び技能】 冷戦から地球社会の歴史の変化に関わる諸事象について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる世界の歴史を理解し、資料から様々な情報を調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦から地球社会の歴史の変化に関わる事象・意義・特色を時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、課題を把握し構想する力や効果的に説明・議論したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦から地球社会の歴史の変化に関わる諸事象について学ぶことにより、よりよい社会の実現を追究・解決しようとする態度を身に付ける。また考察や深い理解を通して国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項 『詳説 世界史』 ・教材 『詳説 世界史』 『最新世界史図説タペストリー』 ・一人1 台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 冷戦から地球社会の歴史に関わる諸事象を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報をまとめる。</p> <p>【思考・判断・表現】 冷戦から地球社会の歴史に関わる事象の特色などを多面的・多角的に説明し、それらを基に議論できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦から地球社会の歴史に関わる諸事象について、日本国民としての自覚や他国を尊重することの大切さを感じ、主体的に追究することができる。</p>	○	○	○	1
	<p>定期考査</p>			○	○		1
							合計
							115

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 公民科 科目 公共

教科：公民科 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～EK組

教科担当者：（A組：永井）（B組：永井）（EK組：永井）

使用教科書：（『高等学校公共』（教育図書））

教科 公民科 の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて攻勢を多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するために手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身につける。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>公共の扉 1 公共と人</p> <p>【知識及び技能】 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。また、労働環境に関わる諸課題やその背景にある社会の変化を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。また、自立した主体として解決が求められる労働環境の諸課題に関し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間をつくる私たちに於いて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。また、雇用や労働環境について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。</p>	<p>・指導事項 現代社会の諸課題 青年期とキャリア形成 職業選択 公共の基本原理</p> <p>・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』</p> <p>・一人1 台端末を活用</p>	<p>【知識及び技能】 人生の中で青年期はどのような意味をもつか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 職業選択の意義と労働環境の諸課題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 職業選択を見据え、労働環境の諸課題について考え、自らの意見を論じている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間をつくる私たちに於いて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 職業選択に関する現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>公共の扉 1 公共と人</p> <p>【知識及び技能】 科学技術の進展による産業構造や生活の変化について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 技術革新による社会の変化の中で、社会参画を視野に入れながら、問題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。</p>	<p>・指導事項 公共と人 公共と倫理</p> <p>・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』</p> <p>・一人1 台端末を活用</p>	<p>【知識・技能】 科学技術の進展に伴う社会の変化と職業観について、人工知能の進化の影響など、現代の諸課題を理解している。 など、現代の諸課題を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察、構想し、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 社会の変化と職業観について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。</p>	○	○	○	3
1 学期 定期考査			○	○		1

<p>公共の扉 2 公共と倫理 【知識及び技能】 なぜ契約が生まれ、契約を守ることが大切なのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題について考え、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を具体的な例をもとに、主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項 現代社会の諸課題 契約と消費者の権利・責任</p> <p>・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』</p> <p>・一人1 台端末を活用</p>	<p>【知識・技能】 成年年齢が18歳以上となったことに対し、成年年齢の意味と成年の責任について理解している。 【思考・判断・表現】 契約と消費者の権利・責任に関わる現実社会の事柄や課題について考え、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18歳成年をふまえ、契約に関する知識や問題を身近なこととして捉えて考えようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>公共の扉 2 公共と倫理 【知識及び技能】 公共的な空間で生きていくために必要なこととして、個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 伝統や文化と、自らの行動様式や考え方の関係について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間をつくる私たちについて、文化対立や宗教対立などの問題を把握し、主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項 倫理分野 宗教と文化、多様性 個人の尊厳と多様性、文化とのかかわり</p> <p>・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』</p> <p>・一人1 台端末を活用</p>	<p>【知識・技能】 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いのさまざまな立場を理解し高めあうことのできる社会的な存在であることを理解している。 【思考・判断・表現】 伝統や文化と自らの行動様式や価値観との関係について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間をつくる私たちについて、文化対立や宗教対立などの問題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>公共の扉 3 公共の基本原理 【知識及び技能】 古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の倫理的問題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項 倫理分野 哲学、応用倫理 人間と社会のあり方についての見方、考え方</p> <p>・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』</p> <p>・一人1 台端末を活用</p>	<p>【知識・技能】 選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 環境保護や生命倫理に関する事例をもとに、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもち、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることを考え、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の倫理的問題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>現代社会の諸課題 1 法 【知識及び技能】 法やルールを定める時には、どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項 政治分野 法 法的な主体となる私たち</p> <p>・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』</p> <p>・一人1 台端末を活用</p>	<p>【知識・技能】 法や規範の意義及び役割に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 生徒に身近な紛争や課題を取り上げ、どのようにすれば公平・公正に調整できるのか、主体的なルールを作成・利用することで考察、構想、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 法や規範の意義と役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1

2 学期	<p>現代社会の諸課題 2 政治 【知識及び技能】 民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。日本国憲法の平和主義の下、私たちが果たすべき責任を理解する。【思考力、判断力、表現力等】 選挙の意義や課題、世論の形成や政党の役割を考える。日本の安全保障体制の変容とその背景にある国際社会の変化にどのように対応すべきか考え、表現できる。【学びに向かう力、人間性等】 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 軍縮に向けて国際社会や私たちに何が必要か考え、課題の解決に向け主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 政治分野 政治 政治的な主体となる私たち 主権国家と日本の安全保障 平和主義と安全保障 ・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』 ・一人1 台端末を活用</p>	<p>【知識・技能】 選挙権年齢が18歳以上であることを踏まえ、選挙の意義や、政治的無関心の危険性などについて理解している。 日本国憲法の平和主義について理解を深めることができるように、現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 核兵器を廃絶するためには何が必要かを考え、軍縮の意義や効果について、さまざまな観点から考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法の下、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>現代社会の諸課題 3 経済 【知識及び技能】 少子高齢化が進む中で、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを理解する。【思考力、判断力、表現力等】 財政の意義やしくみ、日本の財政の課題を考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項 経済分野 経済的な主体となる私たち 財政の役割と社会保障 政府の経済的役割と租税の意義 社会保障と国民福祉 ・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』 ・一人1 台端末を活用</p>	<p>【知識・技能】 財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 【思考・判断・表現】 財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察、構想し、主体的に考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 財政の役割と社会保障について、現代の諸課題である少子高齢化と社会保障の問題、租税の負担の問題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
3 学期	<p>定期考査 持続可能な社会へ 国際政治 国際経済 課題探究活動 【知識及び技能】 国際社会における貧困や格差の原因を理解し、発展途上国の経済成長のために何が必要かを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済がグローバル化する中で、貧困や格差などの問題を乗り越え、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている。</p>	<p>・指導事項 国際政治、国際経済分野 経済のグローバル化と国際社会のこれから 国際社会における貧困や格差 ・教材 『高等学校公共』 『最新図説公共』 ・一人1 台端末を活用</p>	<p>【知識・技能】 国際社会における貧困や格差が解消されていない現状について、国際機構の役割や政府開発援助の意義が大きいことを理解している。 【思考・判断・表現】 国際経済問題の解決には、国家や国際機構などの多様な組織による協力が重要であることについて考え、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							63

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科： 地理歴史科 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A・B・EK組

教科担当者： (A・B組：佐藤 遼 EK組：野田 貴生)

使用教科書： (『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』(清水書院) )

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			記 時 数
				知	思	態	
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 1945年8月15日のそれぞれの「終戦」を基に、歴史が資料に基づいて叙述されていることを理解するとともに、諸資料を活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 1945年8月15日の「終戦」に関する複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料の活用を手がかりに、8月15日の「終戦」の意味や意義について、主体的に追究できるようにする。	・指導事項 『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』(清水書院) P4～7 ・教材 『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』(清水書院) 『問いからはじまる歴史総合』(とうほう) ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 1945年8月15日のそれぞれの「終戦」を基に、歴史が資料に基づいて叙述されていることを理解するとともに、諸資料を活用している。 【思考力、判断力、表現力等】 1945年8月15日の「終戦」に関する複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料の活用を手がかりに、8月15日の「終戦」の意味や意義について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	2
	B 単元 【知識及び技能】 近代化と私たちに關わる諸資料から、情報を読み取ったりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化と私たちに關わる諸資料を主体的に読み取り、近代化への問いを表現できるようにする。	・指導事項 『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』(清水書院) P8～49 ・教材 『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』(清水書院) 『問いからはじまる歴史総合』(とうほう) ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 近代化と私たちに關わる諸資料から、情報を読み取ったりまとめたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化と私たちに關わる諸資料を主体的に読み取り、近代化への問いを表現しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		2
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 国際秩序の変化や大衆化と私たちに關わる諸資料から、情報を読み取ったりまとめたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化や大衆化と私たちに關わる諸資料を主体的に読み取り、国際秩序の変化や大衆化への問いを表現できるようにする。	・指導事項 『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』(清水書院) P50～95 ・教材 『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』(清水書院) 『問いからはじまる歴史総合』(とうほう) ・一人1台端末の活用等	【知識及び技能】 国際秩序の変化や大衆化と私たちに關わる諸資料から、情報を読み取ったりまとめたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化や大衆化と私たちに關わる諸資料を主体的に読み取り、国際秩序の変化や大衆化への問いを表現しようとしている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		2
	D 単元 【知識及び技能】 グローバル化と私たちに關わる諸資料から、情報を読み取ったりまとめたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化と私たちに關わる諸資料を主体的に読み取り、グローバル化への問いを表現できるようにする。	・指導事項 『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』(清水書院) P96～135 ・教材 『私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代の日本と世界』(清水書院)	【知識及び技能】 グローバル化と私たちに關わる諸資料から、情報を読み取ったりまとめたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化と私たちに關わる諸資料を主体的に読み取り、グローバル化への問いを表現しようとしている。				

3 学 期	谷について考察し、問いを表現できるようにする。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> グローバル化と私たちに関わる諸資料を主体的に読み取り、グローバル化への問いを表現できるようにする。	水書院 『問いからはじまる歴史総合』 (とうほう) ・一人1台端末の活用等	グローバル化と私たちに関わる諸資料を主体的に読み取り、グローバル化への問いを表現しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		2
							合計

八丈 高等学校 令和5年度（1学年用）教科

地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ EK 組

教科担当者： (A組：野田) (B組：野田) (EK組：野田)

使用教科書： (『高等学校 地理総合—世界を学び、地域をつくる』(第一学習社))

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
○地球上の世界と地図 【知識及び技能】 地図の読み取り、使い方などの知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地球上の諸事象に対して、デジタル地図上に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球上の諸事象に対して関心を高めることができる。	・指導事項 地形図の使い方、デジタル地図の使い方 ・教材 教科書、地形図、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、デジタル地図の閲覧、編集	・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解する。 ・新聞広告や図書館の資料、インターネット検索などを用いて、身の回りの地図の活用事例について調べることができている。 ・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたことと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、時差の計算に積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。 ・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法の特徴と欠点を、知識として身につけるとともに、地球儀と世界地図を用いて、球面を平面に表現する際の特徴と問題点を、考えることができる。 ・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。 ・インターネットを使ってさまざまなWeb地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1
○国家の結びつきとグローバル化する社会 【知識及び技能】 国家や国家同士の結びつきについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 国家同士の結びつきについて、メリットやデメリットなどを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化する世界において、自分の生活とさまざまな事象が結びついていることについて、関心を高めることができる。	・指導事項 国家同士の結びつき等について調べ学習を行う。 ・教材 教科書、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索	・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化してきたかを時系列で理解する。 ・さまざまな情報手段を用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか、理解する。 ・グローバル化の中で、人・「もの」・資本の国際間移動の複雑化や、国家的結びつきの変化に気づき、国家が自国の利益などのために結んでいる国際機関の変遷を学習する。 ・単に交通・情報・通信手段の発達に目を向けるだけでなく、それらがどのように地域を結びつけ、変化させているかを地図から考えることができる。 ・インターネットショッピングを事例に、情報技術や物流、金融など、さまざまなサービスがかかわってくることを、実体験とともに考える。 ・貿易の拡大に伴い専用船の開発・普及が進み、コールドチェーンの整備により人々の生活が豊かになっていることを、具体的な実体験を通して理解する。	○	○	○	6
○生活圏の調査と地域の展望 地域調査の方法 【知識及び技能】 ・地域調査について、積極的な調査を実施できるように、地域調査の基本を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域調査の一環として、資料収集・現地調査を行い、的確な統計地図やグラフを作成して発表できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域のさまざまな事象に対し、課題をもち、関心を高めることができる。	・指導事項 フィールドワークによる調査、文献調査の仕方 ・教材 教科書、地形図、資料集、地図帳 ・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索	・地域調査について、積極的な調査を実施できるように、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。 ・地域調査の一環として、資料の収集と活用を行い、的確な統計地図やグラフを作成して報告書をまとめ、発表する。 ・地域調査を通して、地域のさまざまな事象に対し5W1Hの発問を設定して課題を抽出し、その解決策を提案し、共有する。 ・成人年齢が18歳になることを踏まえ、地域調査を通して、地域の課題に対する地方自治体の政策を調べ、主権者として地域の諸課題を解決する方法について考察を深めることができている。	○	○	○	1
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>○生活圏の調査と地域の展望 地域調査の方法</p> <p>【知識及び技能】 ・地域調査について、積極的な調査を実施できるように、地域調査の基本を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・地域調査の一環として、資料収集・現地調査を行い、的確な統計地図やグラフを作成して発表できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・地域のさまざまな事象に対し、課題をもち、関心を高めることができる。</p>	<p>・指導事項 発表の行い方、質問の仕方</p> <p>・教材 教科書、地形図、資料集、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索、発表ツール</p>	<p>・地域調査について、積極的な調査を実施できるように、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身に付ける。</p> <p>・地域調査の一環として、資料の収集と活用を行い、的確な統計地図やグラフを作成して発表する。</p> <p>・地域調査を通して、地域のさまざまな事象に対し5W1Hの発問を設定して課題を抽出し、その解決策を提案し、共有する。</p>	○	○	○	1
	<p>○生活・文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】 世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、地形や気候の面からとらえる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界は地理的環境の影響を受けた特徴ある景観で成り立っていることについて、関心を高める。</p>	<p>・指導事項 国際社会の現状および地球環境の現状</p> <p>・教材 教科書、資料集、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索</p>	<p>・図書館の本やインターネットから、世界の生活・文化を示した写真を探し、写真の中にある地理的環境を読み取り、世界は地理的環境の影響を受けた特徴ある景観で成り立っていることを学ぶ。</p> <p>・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。</p> <p>・世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面からとらえる。</p> <p>・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。</p> <p>・その地域の自然環境と、歴史や文化といった社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶ。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	<p>○生活・文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識及び技能】 人々の生活環境や文化は地域的に大きく異なることを様々な資料からとらえることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・人々の生活様式の差異がどのように発生しているかを考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多様なアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくため、他者の文化を尊重し、自らの文化について関心を高めることができる。</p>	<p>・指導事項 国際社会の現状および地球環境の現状</p> <p>・教材 教科書、資料集、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索</p>	<p>・世界の特色ある生活文化にはどのようなものがあるか関心を持ち、地域固有の自然環境や歴史、風土に基づいて形成されたと同時に、グローバル化のもとで新たな変化が生じていることを学習する。</p> <p>・祭りやスポーツ、音楽などの伝統と現代社会の影響を受け、変化が見られる事例を学び、現代世界の諸事象を読み解く視点を身につける。</p> <p>・多様なアイデンティティを持つ世界の人々と共生していくためには、他者の文化を尊重するとともに、自らの文化を知ることが重要であることを学ぶ。</p>	○	○	○	2
	<p>○地球的課題と国際協力</p> <p>【知識及び技能】 直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることが理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性について考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエンカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を見直す態度を育てることができる。</p>	<p>・指導事項 国際社会の現状および地球環境の現状</p> <p>・教材 教科書、資料集、地図帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等 teamsの活用、インターネットによる検索</p>	<p>・5つのPの枠組みを活用して、持続可能な開発目標(SDGs)の考え方を学び、地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解する。</p> <p>・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解する。</p> <p>・地球的課題の解決の困難さや、地域差を学習し、その地域性に応じた取り組みが必要であることを理解する。</p> <p>・SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業の社会的責任やエンカルな消費者としての取組を通して、自らの行動を見直すことができる。</p> <p>・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。</p> <p>・各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を図書館やインターネットなどで調べ、話し合う。</p>	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	

